

学生アンケート集計結果

(編集：矢野隆)

参加学生 14 名のうち、11 名からアンケートの回答が得られた。

回答者の内訳は、大学学部課程 4 名、同修士課程 3 名、同博士課程 3 名、高専専科 1 名であった。

(1) 講演の内容は満足のものでしたか？その理由は？

(7) とても満足 (3)ある程度満 (1)やや不満 (0)大いに不満

理由：

- ・発表時間もちょうどよく、内容が充実していた。
- ・海外事例と日本の事例とバランス良く、地層処分の初学者に易しい内容だった。
- ・地層処分についての理解はまだまだ足りていない部分が多くあったので、今回見学会前に理解を深めることが出来て良かった。
- ・フィンランドでの実情や日本での活動における現状など、新しいことが分かった。
- ・導入のビデオから公演の流れで、地層処分に関する知識を学ぶことができた。
- ・ビデオで紹介されていたフィンランドでの街頭インタビューの内容が印象的で為になりました。
- ・以前見たことがあるビデオだったため「やや不満」としました。ビデオを使うのであれば事前に見るビデオを共有するなりした上で、せっかくならディスカッションの時間を増やすか、プレゼン上で学生自身が自ら課題を発見し、主体的な思考を促すような内容であったほうが良いように思います。

(2) 対話の内容は満足のものでしたか？その理由は？

(6)とても満足 (5)ある程度満足 (0)やや不満 (0)大いに不満だ

理由：

- ・議論の中で様々な新しい発見をすることができた。
- ・地層処分の専門の方と違う分野の方の視点の違いや学生の見方など多様な発言によって、新しく学ぶことがたくさんあった。
- ・グループの人数が少なかつたおかげで発言がしやすかつたことと、オブザーバーのシニアの方たちから意見等がもらいやすかつた。
- ・普段は関わることの少ない世代の方とお話する時間が長くとられており、満足だつた。

- ・SNWの方々にアドバイスを頂きつつ、建設的な議論が出来た。
- ・ファシリテーターの方が上手く回して下さったおかげで皆さんの意見を聞くことが出来た。
- ・SNWの参加者の知見が非常に深く、得られたことも多かったが若干ながら思考が凝り固まっているのか同じような話を繰り返していたように感じた。

(3) 事前に聞きたいと思っていたことは聞けましたか？

- (4)十分聞くことができた (7)ある程度聞くことが出来た
 (0)あまり聞けなかった (0)全く聞けなかった

理由:

- ・資料が充実していた。
- ・ファシリテーターとして議論に勢いを付けるために、早めに軽く質問して聞くことが出来た。
- ・発言しやすい環境だった
- ・坪谷様のご講演で、今まで知らなかった事や疑問を解消する事が出来た。
- ・講演の内容が事前資料と合致していた。
- ・地層処分に関わる技術について、利用のスタンスを学ぶことができた。

(4) 今回の対話で得られたことは何ですか？（複数回答も可）

- (10)新しい知見が得られた。
 (0)マスコミ情報と今回の対話会情報に違いがあった。
 (3)自分の将来の進路の参考になった。
 (2)教育指導の参考になった。
 (0)特に新しい知見は得られなかった。
 (0)その他 ()

(5) 「学生とシニアの対話」の必要性についてどのように感じますか？

- (6)非常にある (5)ややある (0)あまりない (0)全くない

理由:

- ・世代を超えた意見交換が重要なため。
- ・持っている情報に差があり、双方にとって(少なくとも学生にとって)参考になるものが多い。
- ・経験や実例など、勉強では得られないものが確実にある。
- ・その道数十年の知見をお借りしながら学生同士のディスカッションを深めることが出来るのは素晴らしいことだと思う。
- ・世代が変われば意見も違い、異なる意見を議論することは重要だと思う。

(6) 今後、機会があれば再度シニアとの対話に参加したいと思いますか？

(2) まだまだ話したりないので参加したい (7) もっと知識を増やしてから参加したい (1) 十分話ができたらもういい (0) 二度も必要ないと思うからもういい (1) その他 ()

(7) 放射線、放射能に対して伺います。(複数回答も可)

- ① 放射線、放射能はやはり怖い。(1)
- ② 一定のレベルまでは恐れる必要はないと以前から知っていた。(6)
- ③ 一定のレベルまでは恐れる必要がないことを講演、対話から理解できた。(2)
- ④ 放射線、放射能は生活に有用であることを前から知っていた。(7)

(8) 日本のエネルギー政策では、原子力発電を基幹電力(2030年に発電電力20~22%)とし、今後は省エネ・再エネ利用の拡大や火力の高効率化により可能な限り削減していくとされています。対話も含めてあなたの認識は次のどれですか？その理由は？(複数回答も可)

- (3) 原子力発電の必要性を強く認識した。削減又は撤退すべきでない。
- (8) 原子力発電の必要性は分かっていたので、認識は変わらなかった。
- (0) 原子力発電の必要性は分かるが、やはり危ないから早期に削減又は撤退すべきだ。
- (0) 原子力発電を止め、再生可能エネルギーを最大限使えばよい。
- (0) その他 ()

理由：

- ・ 原子力発電は現在の人々の生活に欠かせないものであるため、まだまだ必要であると感じる。
- ・ 原子力発電は、上手く扱うことができれば非常に有益なものであると考えているからです。
- ・ ベースロード電源が重要だから。
- ・ 科学者が一意見で決めるのではなく、分野横断的な議論の後に、最終的には世論が決めることだと思う。
- ・ 少なくともしばらくは必要だと考えている。技術革新に期待している。

(9) 本企画を通して全体の感想・意見などがあれば自由に書いてください。

- ・とても面白い議論が出来たと感じます。参加して良かったです。
- ・予想以上に視点が豊かになった対話だったと思う。
- ・面白く、勉強になりました。ありがとうございました。
- ・運営ありがとうございました。勉強になりました。参加して良かったです。
- ・最後の発表に関して、グループごとに質疑応答の時間があってもいいかなと思いました。
- ・自己紹介の部分で少し時間がかかってしまった印象がありました。

以上